

# 臨床研究へのご協力をお願い

DAPA-BODY Trial に参加された患者さんへ

当院では、下記の研究を実施します。この研究は、既に保存されている血液・尿と診療情報を用いるもので、新たな検査、採血、採尿、受診はありません。

## 研究課題名

SGLT2 阻害薬による血清・尿中オキシトシン動態への影響：DAPA-BODY Trial 保存検体を用いた探索的研究

## 研究の目的

SGLT2 阻害薬は、尿への糖や水分の排泄を増やす一方で、体内の水分量が過度に減少しないような調節も生じると考えられています。オキシトシンは脳で作られるホルモンの一つで、体内の水分調節などに関わります。本研究では、ヒトにおいて SGLT2 阻害薬の使用前後で、血清および尿中のオキシトシンが変化するかを調べます。

## 対象となる方

新小山市民病院で DAPA-BODY Trial に参加され、研究利用について同意され、解析可能な保存血清または尿が残っている方。

## 研究に使用する試料・情報

- DAPA-BODY Trial で保存された血清および尿
- 年齢、性別、病名、服薬、体重、血圧、腎機能、血清 Na、浸透圧、尿量、体成分、推定血漿量、copeptin 等の既存の診療・研究情報

本研究のために、新たな採血、採尿、検査、投薬は行いません。

## 研究方法

保存血清・尿中のオキシトシンを測定し、SGLT2 阻害薬の使用前後で値が変化するかを解析します。オキシトシン測定は、共同研究機関である自治医科大学神経脳生理学教室で行います。試料・情報には研究用番号を付け、氏名、住所等の個人を直接特定できる情報は自治医科大学へ提供しません。

## 研究実施機関および研究責任者

新小山市民病院 腎臓内科 研究責任者：吉澤 寛道

自治医科大学 腎臓内科 共同担当者：増田 貴博（新小山市民病院 腎臓内科 前部長）

## 研究期間

倫理審査承認日から 2028 年 3 月 31 日まで

## 予想される利益と不利益

この研究に参加することによる直接の利益はありません。また、既に保存されている試料・情報のみを使用するため、新たな身体的負担はありません。個人情報には研究用番号を用いて管理し、漏えいを防ぐために厳重に取り扱います。

## 研究成果の公表

研究結果は学会や学術雑誌で発表することがありますが、個人が特定される情報を公表することはありません。

## 研究への利用を希望されない場合

ご自身の保存試料・情報を本研究に利用すること、または自治医科大学へ提供することを希望されない場合は、下記窓口までお申し出ください。お申し出によって、今後の診療その他に不利益が生じることはありません。ただし、既に個人を特定できない形で解析され、研究成果が公表された後は、データを取り除くことができない場合があります。

拒否申出期限：2026 年 10 月 31 日

試料・情報の利用・提供開始予定日：2026 年 11 月 1 日

## お問い合わせ・研究利用拒否の連絡先

新小山市民病院 腎臓内科 吉澤 寛道

住所：〒323-0827 栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

電話：0285-36-0200

情報公開日：2026 年 10 月 13 日